

平成22年度 日本大学藤沢中学校（国語）解答・解説

解答

問一 みちび（く） ② しりぞ（ける） ③ しゃくせん ④ りゅうほ
 ごんごうだん ⑥ 供（える） ⑦ 勤（めている） ⑧ 参照
 ⑨ 郷土愛 ⑩ 衆議院
 ① あなかんむり ② イ

アエウ ① ア・エ ② ウ
 カ ② ウ

問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八 問九

Ⅰ イ Ⅱ ア Ⅲ オ

それぞれの ～ 要なツール
 1 自分の利益 2 無茶苦茶

誰もが安全に確実に、事故に遭うよりはずっと早く目的地にたどりつける

規範意識

ルールがなく、何でも好き勝手にしてよい状態。

問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八 問九

第二放課後の練
 第三職員室を出

手本となる先輩はない（点）

（1）ウ （2）エ

サッカー部の実質的な顧問になってしまったこと。

リーダーシップ

自主的に

ア エ

ぬるま湯

問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八 問九

本文のはじめのほうで『何でも好き勝手にやっていい』ということが自由だとしたら、無茶苦茶なことになってしまいます。』「ルールの共有性があるからこそ、自由というものが成り立つ」と述べられている部分などを参考してまとめましょう。

遼介が放課後、顧問の湯浅に職員室に呼ばれた場面で「サッカー選手としての経験もないし、監督としての経験もない」が「サッカー部顧問のなり手がいなかつた。」ので引き受け、もう一人の顧問が進路指導を受け持つているうえ女性だったことで「実質的な顧問という立場になつた」という事情を聞かされています。

解説

問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八 問九

三

二

三

四